

# 報 告 書

開催日時	平成26年11月9日（日）午前10時～11時	
開催場所	陸前高田市役所（議場）	
出席議員	挨拶	菅原悟班長（総務常任委員会委員長）
	司会進行	菅野 稔
	記録者	藤倉泰治
	議員	千田勝治、小松眞、佐竹 強
参加人数	20人	
主な要望 ・提言等	<p>秋季消防演習後、団及び分団幹部に市役所会議室に勢揃いしていただき、「消防屯所」「報酬等」「団員確保」について、議会報告会総務班と懇談した。</p> <p>（1）消防団屯所について</p> <p>○高田分団 市から分団の屯所の設置場所の希望を聞かれても、今後高田の町がどうなるのか、高台はそれぞれどこにどれだけの戸数になるのか全くわからず、回答しようがない。団員についても、どこの高台に住むのか、どの災害住宅に入るのか不明だ。高田は6部あるが、その場所、規模は今わからない状態だ。</p> <p>○広田分団 被災した屯所以外でも、傾いている屯所（4部・根岬）がある。代替地も決まっているので急いで整備してほしい。</p> <p>○気仙分団 ホースの乾す場所がほしい。団員が現在は分散しているが、滝の里に乾燥場所をつくってほしい。</p> <p>○横田分団 屯所は計画的に新しくしてほしい。横田3部（槻沢）は水で困っている。ボーリングしてみたが、飲める水ではなかった。</p> <p>○竹駒分団 屯所の建て替えは何年という基準はあるのか。何年経ったら建てられるのか。</p> <p>○矢作分団 屯所は2部（下矢作）で外壁のペンキ塗り替え工事中だ。</p>	

○小友分団

1部は建てるばかりになっているが、業者がまだ決まっていないようだ。4部の屯所（駅前）は土地が見つかったが……。3部（矢の浦）も狭く古い。駐車場もない。

○米崎分団

2部の屯所の予算は議会も通ったので、建築を待つだけとなった。1部は高台の場所も決まり待つだけとなった。

○団長

団とすれば、各分団から話を聞き、議会に提出する立場なので、ぜひ各分団から要望をここで出してほしい。

（2）報酬等について、（3）団員確保について

○報酬を上げればどうなるのか、上げる目的は何か。上げれば参加する団員が増えることではないと思う。今日の演習の参加も少なかった。仕事の都合やPTA活動が優先になっている。報酬のことだけではなく、スケジュール・行事の調整などを市や教育委員会に要請したい。

○しかし、演習はこの時期しかできない。団員を500人集めることは永遠の課題だ。決着がつかない。行事は年間行事として日程を決めたい。

○教育委員会などはPTAに対し、消防の行事のことも周知してほしい。震災後NPO等の活動で行事も多くなっている。行事を辞めろというわけではなく、他の協力体制をとってほしい。

○団長

報酬は、団員確保にもつながる。家族への感謝もあり、団員の待遇改善や周りの目も消防に向いてくると思う。報酬の使われ方はご存知と思うが、若い人は飲み会離れになっている。そういう団員を巻き込むため、報酬確保をお願いしたい。大船渡、住田とも格差2000円、3000円は差があると思う。幹部研修に行ってほしいが、日当1900円だけだ。たとえば5000円くらいは考えてほしい。

○渡辺団長

企業への働きかけをお願いしたい。団員にサラリーマンが多い。消防で休みをとりたくても、有給や欠勤となってしまう。優遇措置があれば、団員に誘いやすい。

○団員確保について、団員30人切ったことは重要な問題。部の統合は考えられないか。車両に7人しかつけない。

	<p>○団員が増えたというが、バリバリの団員ということではない。団員の勧誘で家族の猛反対もあったことも。会社のことでは、社員として震災で亡くなった例もあり、消防団に入るのは辞めてほしいと言われたこともある。それに、高田分団の場合、消防に入れてもどこの部に入れたらいいのか。</p> <p>(4) その他</p> <p>○竹駒分団</p> <p>水門が二つ使用不可能になっている。有事の際の十日市場の水利を考えてほしい。</p> <p>下沢と滝の里地区は交通量が多くなり、大型車両も多く、すれ違いができないところもある。道路の件も消防のこととして考えてほしい。</p> <p>○横田分団</p> <p>横田地区は水道が普及していない地区もある。溜池などを使っている。水利箇所の見直しを考えてほしい。</p> <p>以上約1時間にわたって、意見交換、懇談が行われた。その後、消防団幹部とともに、消防長から新しい防災センターの現地説明を受けた。</p>
<p>所 感</p>	<p><b>【菅原悟】</b></p> <p>被災屯所の再建は当然であるが、老朽化した屯所の建て替えの要望もあった。また、消防団活動には、企業や地域の協力も必要であるとともに、市内で開催する行事と調整をし、消防団員の負担軽減も図ることが必要と感じた。</p> <p><b>【菅野 稔】</b></p> <p>各分団より意見をいただき、それぞれ問題点が出され、特に屯所の新築を待たされ、さらには団員の確保の難しさやスポ少等の行事が重複することが多く、消防団の出動人員が足りない部分が大変だと感じました。</p> <p><b>【藤倉泰治】</b></p> <p>消防屯所や団員の確保で率直な意見をいただいた。現在の復興事業でも、新しいまちづくりでも、消防団の人たちは現場を知っていて大事な意見をもっていると感じた。道路や市街地整備のことでも、一番かわりのあるのは消防団の人たちであり、復興事業にあたって、今後の市のまちづくりについても、もっと消防団の人たちの意見を聞き反映させることが重要と思った。消防及び防災活動のことを柱にした計画が必要と思った。</p>

**【佐竹 強】**

消防屯所の新築・改築の問題、団員確保の必要性、団員が消防団活動を行いながら地域活動等へ参加できる日程調整や体制づくり、さらには団員報酬の改善など、切実な問題が多いと感じ、消防団への様々な環境整備、待遇改善等が必要と感じた。

**【小松 眞】**

○震災で流出した屯所や老朽化した屯所など団員の活動拠点の環境整備の早期実施を強く感じた。

○年々、人口減少に伴う若者の現象から、消防団員の確保は永遠の課題でもあるが、各本部と後援会などと連携して、地域の若者の掘り起こしや各企業への訪問による協力要請を積極的に推進する必要がある。

○消防活動や演習等の団員の参加率の向上に於いても、消防行事の日程と他のイベント等との重複に配慮するとともに、団員の勤務先の企業への協力要請に配慮すべきと感じる。

**【千田勝治】**

震災後、各地区の屯所が津波により消失し消防団活動への影響が大きく、震災以前のような活動が出来ない状況であり、一部新築屯所の建設はあるが、各部が所管する地区の各世帯が大きく被害を受けた地区の新設屯所の建設の見通しはなく、切々な気持ちの中での消防団活動に強い敬意を感じさせられた。

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員長 松田信之様

平成26年12月9日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会 1班

班長 菅原 悟 (印)